

「おとなが変われば子どもも変わる」

根っこわーくすでは、「ひとの根っこ」とは「自己肯定感」である。そのために、子どもの「自己肯定感が自ら育つ居場所」づくりに取り組んでいます。

居場所では、設備や空間も大切ですが、日々の「おとな（ひと）との関わり」が何より重要です。自己肯定感が「育つ」「傷つく」関わり、心を「勇気づける」「くじく」関わりがあり、私たちおとなの関わりによって「自分は大丈夫」「自分はダメ」などの自己認識や価値観を作り上げていくからです。これは、社会で生きる大人同士にもあてはまることです。

様々なひとと過ごす中で、体感的に「ひとの多様さ」を知ることが大切です。「違いや失敗」を過剰に「悪いこと」とせず、「当たり前にあるもの」として経験すること。子ども自身が納得した「自己選択」「自己決定」が経験できること。理解あるおとなのサポートがあれば、子どもは、自分のチカラで育んでいきます。主体性や自己信頼、当事者意識が育つために必要なことです。

人間関係やコミュニケーションの悩み、自信のなさは、ひとの関わりから生まれた「ものの見方」が見つかりだすものです。ひとと関わる様々な課題に、講師派遣や対話を通して、学びの場づくりをします。

「おとなが育てば、子どもも育つ」

子どもにとって、親や教師・指導者の影響がとても大きい。それは想像に難くありません。より良い自分の「あり方」とそれを支え合える「場づくり」で、おとなが「共に学び探究する」事業です。

学校や保育現場への出前授業、研修会、講演会への講師派遣と、tomos を活用した主催・共催のおとなが集う勉強会や研修会、子育て講座や子育て相談、対話会・交流会から雑談まで、あらゆる対話機会・情報発信を「おとなが学び合う場」にしていきます。

この事業は「子どもの居場所」「フリースクール」「子育て支援」すべての事業を横断的に、子どもと関わるすべての機会で行われます。

《 2024 年度 総括報告 》

●2024 年度 事業方針

1. 「おとなの学び促進」と「自己肯定感の育つ居場所を共に作るサポーター募集」のため、情報発信の充実を目指す（ホームページの充実 / 継続寄付の仕組み整備）
2. おとなの対話機会を増やす
（相談業務、対話会、保護者との交流会、tomosBar（地域・仲間との交流）、など）
3. 交野こそだちベース tomos を活用した、主催・共催事業のあり方模索を継続する
（「子育て講座」「勉強会」「対話会」など）

●2024 年度 事業報告

1. 「おとなの学び促進」と「自己肯定感の育つ居場所を共に作るサポーター募集」のため、情報発信の充実を目指す（ホームページの充実 / 継続寄付の仕組み整備）

4月に子ども第三の居場所「交野こそだちベース tomos(ともす)」が正式に開所した。運営スタートに合わせて、ホームページの全面改訂を行った。また、私たちの考えや活動を発信するため、ブログサイト「note」と「ニュースレター（毎月）」の発信をスタートさせた。

「自己肯定感が育つ居場所を共に作る」仲間集めを目指して、既存のいどこ塾会員制度にかわって、マンスリーサポーター制度を開始した。活動趣旨を広く発信し「居場所充実」に向け、理念や歩みを掲載した募集サイトを新設した。非営利事業拡大に伴う資金確保も目指すが、現状、いどこ塾会員制度に替わる資金確保はできていない。

2. おとなの対話機会を増やす(相談業務、対話会、保護者交流会、tomosBar（地域交流）、など)

気楽に、おとなが集まる対話機会を作ろうと「tomosBar」を再開した。

秋から毎月1回、第一金曜に継続開催している。参加人数の増減はまちまちだが、おとな同士が日々感じていることを言葉にし、語り合える「おとなの居場所」になりつつある。

教育系大学や福祉系大学の依頼で、自己肯定感や子どもの関わりなど、講演や大学タイアップ企画、森のようちえんのふりかえり（場づくり）、交野市「子育て支援者交流会」のファシリテーションなどに取り組んだ。

3. 交野こそだちベース tomos を活用した、主催・共催事業のあり方模索を継続する（「子育て講座」「勉強会」「対話会」など）

子育て育ち事業の対話会や、プロコーチングを生かした企画立案と実施をした。

今年は、「自由がむつかしい」子どもたちがいるのではないかと、「自由あそび・自己選択」中心の活動に加えて、若干の具体的なプログラムを用意し「マイ屋台プロジェクト」や大人のやってみたいを「〇〇コーナー」として、自由遊びに組み込む試みをした。

《 2025 年度 方針 》

●2025年度 事業方針

大人自身の「自己肯定感」「主体性発揮」「自己理解」を豊かにする

「大人が変われば子どもは変わる」という考えのもと、講師派遣、対話、情報発信に取り組みます。

1. 「自己肯定感の育つ居場所を共に作る仲間（サポーター）」を募集する

情報発信を充実させる（ホームページの充実 / 情報発信の充実）

2. 「おとなの学び促進」～おとなの対話機会を増やす～

講師派遣業務と合わせて、相談業務、対話会、保護者との交流会、

tomosBar（地域・仲間との交流）などに取り組む

3. 主催・共催事業のあり方模索を継続する

交野こそだちベース tomos を活用した「子育て講座」「勉強会」「対話会」などを行う。

〇〇コーナーを活用し、おとなの「好き」「やりたい」と子どもの経験をつなぐ活動を行う。